

通信・IT ネットワークの分野では、日々新しい技術が開発され、より効率的で、より安価なサービスが次々と生み出されています。知らないことは、イコール企業利益の損失です。そこで私たち大和電設工業は、情報通信やITソリューションの『知って得する最新情報』を、お世話になっている皆様に定期的にお伝えしていきます。隔月発刊のDDK通信、ぜひお楽しみください。

## テレワーク環境作りの進め方

新型コロナウイルス感染防止対策では「テレワーク」を取り入れられた企業も多かったのではないのでしょうか。感染防止対策には緊急性が求められたので、テレワークに必要な設備もルールも十分に揃える間もなく実施したところが多かったと聞いています。テレワークを実施するには業務の電子化が進んでいる

必要がありますが、弊社でもテレワークに必要な環境が十分に揃っていなかったので実施には躊躇しました。しかし、コロナ感染第2波に備えて、また、働き方改革での業務改善を踏まえ、テレワークに必要な環境構築に弊社が携わった事例を紹介しながら課題について検討してみます。

### テレワークに向けた課題

#### 1 勤怠記録の義務

勤怠の記録を保管することは労働基準法で義務づけられています。テレワークの場合、自宅で勤務することになるので、出勤時と同様の形で勤務時間を記録することができません。出張時のように「みなし時間」の考え方も可能ですが、勤務時間を可視化して記録化することが社員と管理者の両者にとって必要な事です。

#### 2 伝票類の電子化

販売システムなどシステム化が進んでいますが、各税法で保存が義務づけられているので伝票類を紙で運用されている所も多いのではないのでしょうか。ただ、書類のスキャナ保存など電子データの形式で保存することは認められる(税務署長の事前承認必須)ので、電子形式で伝票を回すことが可能と考えられます。

#### 3 承認時の押印

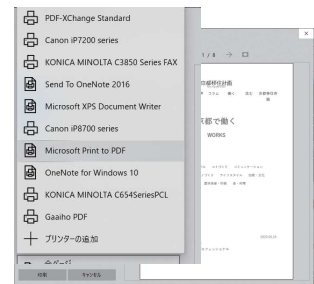
見積書やその他社内伝票類に上司の承認を必要とされているところも多いと思います。電子署名(承認)については、商法による制約もあり全てが無くなるわけではありませんが、社内書類から取りかかりたいという要望があります。ただ、印鑑は承認者の権限と信頼性を保証する為にとても良い方法だと考えられています。

### 伝票類の電子化

#### PDF印刷

弊社の販売管理や売上管理で使用していたシステムでは、部門間や事業所間に通達する必要があるため伝票や帳票類を印刷して回す仕組みで運用していましたが、紙に印刷する代わりにPDF印刷を行い、メールで部門に通達する方法に改めました。

Windows10では標準でPDF印刷機能があります。プリンターの指定で「Microsoft Print to PDF」を選んで[印刷]を実行すると保存先を聞いてきますので、保存先を選んで[保存]を実行します。



#### オーバーレイ印刷

システムで伝票印刷する場合、専用伝票に伝票番号や金額のみをべた印刷する方法で運用していることがありますが、この場合PDF印刷をすると枠や伝票名称など何も無い白紙の伝票になってしまいます。対応策として、専用伝票に印刷したのちスキャナーでPDFにすることも考えられますが、手間がかかり効率化は望めません。

この対処としては、専用伝票のデータを印

刷した伝票に上書きすることで、専用伝票に印刷した物と同じPDFデータができます。この上書きする方法では印刷時にオーバーレイ用のプリンター(アプリ)を選んで印刷することになります。後から、2つのPDFを重ねることができる方法もあります。印刷時にオーバーレイ印刷の方が簡単で使いやすいと思いますが、お使いのシステムによって検討が必要です。

